

# Bridge

KINJOGAKUIN UNIVERSITY  
Parents Association Report

vol.4

金城学院大学 父母会会報 [ブリッジ4号] 2008.7

## 「品格」と対峙する。

対談

二杉 孝司

教授

× 上原 尚子

准教授

副学長・文学部 言語文化学科

文学部 英語英米文化学科

# 「品格」と対峙する。

学生と教職員の心をひとつにして  
いま、マナー・ネットサンスが始まる。

金城学院大学は、2009年に学院創立120周年、大学設立60周年を迎えます。大きな節目を目前に控えた本学はさらなる成長、進化を遂げるため、歴史と伝統を振り返りながら本学の役割を見直し、様々な改革プランを進めています。その取り組みの「環」として、より洗練された女性を育成するために学生のマナー向上にスポットを当てて、

2008年4月より「学習規律と社会的マナーの指導」をスタートしました。名付けて、金城学院大学マナー・ネットサンス。教職員自身も自分のマナーやマナー指導に対する意識改革を行い、全学一丸となった活動が始まりました。



私たちが姿勢を正し、手本を見せることも大切だと思います。

文学部 英語英米文化学科  
専門分野: エアラインサービス(エアラインプログラム担当)  
上原 尚子 准教授

教育スローガンを実践していく上でも、マナー指導はとても重要です。

副学長・文学部 言語文化学科  
専門分野: 教育学  
二杉 孝司 教授

## 「若者の風潮だから」の ひとつで片づけられない問題

学生のマナー指導に取り組むこととなった経緯をお聞かせください。

二杉 副学長(以下敬称略/二杉) 公共の場における若者たちのマナーの低下が、社会的な問題となっています。本学でも授業中の私語をやめさせて欲しい」と学生から要望があったり、人が行き交うロビーで行儀の悪い格好をしている学生が見られるなど、学習態度や立ち居振る舞いに関する、美しくない状況が顕在化するようになってきました。

キャンパスの中だけでなく、登下校の際に歩道や駅で近隣住民の方々への配慮が足りず、苦情が寄せられることもあります。本学は伝統的に、学生の品格が良い」と評価されてきただけに、「残念だ」「金城生らしくない」という声をよく耳にするようになりました。

上原 准教授(以下敬称略/上原) 私は今年の四月にエアラインプログラム(進)の担当として赴任したばかりなのですが、キャンパスで挨拶を交わす様子をあまり目にしないことにも悲しい気持ちになりました。人と人が出会った時に挨拶するのは当たり前前で、最低限のマナーです。また最初の授業で、机の上に飲食物を出したままだったり、遅刻をして平然と教室に入ってくる学生にとっても驚きました。「授業を受ける態度ではありません。真剣に取り組んでいる学生の迷惑になります。」と声を大にし



て論じました。

二杉 一九七〇年頃のことでしたか、高校生の生活指導をめぐり「高等学校に生活指導は必要か」という議論がありました。当時は生活指導は中学生までで高校生は自主性に任せるべきだ、と考える人が多かったわけです。それが今や大学が学生の「生活指導」に取り組むべき時代になっています。時代の流れと言ってしまうばそれまでです。しかし本学としては、学生の授業を受ける姿勢やマナーの低下を、若者の風潮だから仕方がない」と是認するわけにはいきません。教育スローガンの「強く、優しく。」を実践していく上でも、公共心や社会性を育てていくことはとても重要です。

これまでも規律やマナーの指導をしてきたわけではありませんが、どちらかと言えば個々の判断に委ねられていました。今回、学院創立二〇周年、大学設立六〇周年を迎えるにあたり、マナー・ネットサンスとして学習規律と社会的マナーの指導に組織的に取り組むことにしました。

## 初めに教職員の指導がありき

具体的にはどのような活動を進めていくお考えですか。

二杉 学生の状況を批判する前に、私たちがマナーの悪い学生にどういつ対応してきたかを省みなければなりません。

我が身を振り返ると、自分の知っている学生には注意するが、そうでない学生は見えて見ぬふりをする、といったことがあり反省しています。また、たとえば地べたに座りこんでいる若者を見て、すぐくみつもならないと感じるか認められるか、私たちが大人の中でも世代によつて受け止め方が分かります。そういう曖昧さが、今の若者の意識を作ってきたといっても良いでしょう。

その反省をふまえ、学生のマナー指導を行うためには、まず私たち教職員全員が共通の考えと貫いた姿勢を持つことが大前提になると考えます。つまり全教職員の意識改革、これが第一歩ですね。指導を徹底して注意を受ける学生が不公平感を抱かないように、「言われて当然」という雰囲気をつくつていきたいと思えます。うざつたいと思われるのがイヤだ、嫌われたくない、面倒くさい、そういうネガティブな意識や無関心な対応は掃拭したいと思っています。

上原 確かに私が学生だった頃は、先生はみんな口うるさくて煙たい存在でした。その頃と比べると、先生自身の考え方が今と昔では大きく変わつてしまつているのかも知れませんね。二杉 それから、教員自身のマナーも見直すべきでしょう。私自身、今でも名刺交換が苦手



学生に対しての意識改革や指導はどのように行っていますか。

二杉 学生には二〇〇八年をマナー・ネットサンスの年にすることを宣言し、新入生や在学生のオリエンテーションで注意したり、登下校の際に学長とともに通学路に立つて指導したり、明らかに今までは違つた雰囲気や四月からつくつて来ました。また、キャンパスの要所にマナーの順守や身だしなみへの注意、美しい立ち居振る舞いを促すポスターなどを貼り、日常的に学生の意識を高めるようにしています。

## すでに確かな手応えを感じる

# 学習規律と社会的マナーの指導について | 金城学院大学 学長 柏木哲夫

本学は今年度の開始にあたり、教務部長・学生部長名で「金城学院大学にマナーのルネッサンスを」という文書を、学生に配付いたしました。同時に、学生にはポスターを掲示してマナーを守ることを呼びかけ、教職員には学生指導を強化するよう指示してまいりました。さいわい学生たちも私たちの期待に応えてくれて、ルール順守はもとより学生の立ち居振る舞いにも落ち着きが見られ、「金城学院大学マナールネッサンス」は、まずは順調に滑り出したと思っております。

洗練されたマナーを身につけることは、学生にとって一生の財産になります。洗練されたマナーや言葉遣いは学生を守るとともに、美しい立ち居振る舞いは「強く、優しい」内面の確かな存在を示すものでもあるからです。このような見地から、本学は、ルールからの逸脱やマナーの違反には厳しく対処するとともに、共通教育等に力を入れ、「金城ビジネススキル検定」なども通して模範となる学生たちを育て、学生全体のマナーの向上を図って行きたいと考えております。

しかしながら、授業中の私語一つを取りましても、残念ながら明らかなルール違反が未だ一掃できたわけではございません。そういう意味で「金城学院大学マナールネッサンス」は、まだまだ第一歩を踏み出したに過ぎません。そのことを自覚し、全学教職員一丸となってルールとマナーの指導に取り組んでまいりたいと思っております。ご父母の皆様におかれましては、本学のこのような方針にご理解をいただき、今後とも一層のご支援をお願いいたします。

学生の皆さんへ

2008年3月31日

## 金城学院大学にマナーのルネッサンスを

教務部長 足立 文彦  
学生部長 宗方比佐子

### ●きちんとしたマナーを身につけることは一生の財産です

一度きちんとしたマナーを身につけると、将来どのような場面にあっても、皆さんの活躍できる可能性は高まります。エレガントなマナーが、社会的に評価されるからです。マナーとは、「相手のため」に行う思いやりの行動で、「他者を気遣う気持ちの現れ」です。しかし、その結果として自分の価値が高まり、周囲から感謝や尊敬が得られるという意味において、「マナーは他人のためならず」ということも当てはまります。ですから、マナーは一生の宝であり財産だと言ってよいでしょう。

### ●本物のレディになりましょう

レディに相応しいマナーとは、「優しい態度、気品と節度、謙虚と思いやり」と言われます。学生の皆さんには、「親切」「優雅」「善意」「聡明」「自尊」「礼儀」といったことを身につけていただきたいと考えていますが、マナーはこのような精神が行動に表れたものです。そういう意味で、次のような具体的な行動を身につけるよう奨励したいと思います。

- 1) キャンパス内でのルール順守・・・禁煙、授業態度、キャンパス内での行動
- 2) 公共マナーの順守・・・電車内でのマナー、通学路での市民への配慮
- 3) 学生らしい身だしなみ・・・学生に相応しい服装、髪型、メイク、持ち物
- 4) 美しい立ち居振る舞い・・・美しい歩き方、座り方、話し方

### ●マナーの金城ルネッサンス

金城生といえば、昔から華やかな中にも気品のあるエレガントな女性の代名詞、楚々とした美しい立ち居振る舞いで高く評価されてきました。しかし残念ながら最近では、「私語が多くて授業に集中できない」、「電車の中で大声で喋っている」、「通れなくて困っていても道を譲ろうとしない」など、父母や近隣住民、さらには学生の皆さんたち自身からも強い苦情がもたらされるようになりました。

本学は「強く、優しく。」を教育スローガンにしていますが、それにふさわしいマナーを確立することが求められています。2009年には学院創立120周年・大学設立60周年を迎えますが、その前年にあたる今年2008年を、7万人にのぼる先輩たちの伝統に学び「マナーの金城ルネッサンスの年」としたいと思います。

一人ひとりの学生諸君がきちんとしたマナーを身につけることを望みます。学生同士が、お互いのマナーを気遣い、学生諸君全員のマナーの良くなることを望みます。教職員も気のついたことは注意し、学生諸君のマナーの向上を応援します。

実際に学生に配付した文書

マナー教育のカリキュラムなどは、二杉「キャリア形成」の授業にマナーの教育を取り入れていますが、いま進めているカリキュラム改訂の中でさらに強化すべく検討していく予定です。

上原 私の授業はエアラインサービスマナーが専門ですから、マナーに関する科目も取り入れています。少人数ですから可能ですが、全学で行うとなると大変な取り組みになると思います。

二杉 みんな素直に聞き入れてくれます。教員に注意されて反抗する学生は、もちろんいませんし、挨拶も盛んにしてくれます。確かに手応えを感じています。

上原 私の授業でも、最初に取り組み姿勢を正した後は、机の上に授業に関係のない物が置かれている事も、遅刻もなくなりました。

二杉 そもそも学生の目に余る態度や行動も、周りへの気遣いができていないだけで、意識してマナーに反発しているのではありません。金城生としての自分、社会における自分を考えるようになれば、立ち居振る舞いは自然に美しくなっていくものだと思います。

上原 それから、先ほどの学生に対する



副学長・文学部 言語文化学科

## 二杉 孝司 教授

### Profile |

●専門分野: 教育学 ●研究課題: 授業研究、教育ディベートの可能性 ●所属学会: 教育方法学会、日本カリキュラム学会、教育技術学会、日本教師教育学会、全国教室ディベート連盟理事(1996年～)、全国教室ディベート連盟理事長(1997年～) ●主な業績: 連載/学習者時代の授業論[単著(1996～1998年 学事出版社)] 授業づくりネットワーク第114号～151号までに26回、教室ディベート論[単著(1999～2000年 学事出版社)] 授業づくりネットワーク第152号～180号までに26回

文学部 英語英米文化学科

## 上原 尚子 准教授

### Profile |

●専門分野: エアラインサービス(エアラインプログラム担当) ●研究課題: エアラインにおけるコミュニケーションスキル、ホスピタリティ ●主な業績: 日本航空およびJALウェイズにおいて国際線客室乗務員・アシスタントパーサーとして15年勤務、ファーストクラス担当、サミット特別フライト乗務、各国各地におけるJALのPR活動に参加 ●受賞歴: 日本航空社長表彰(1982年、1984年、1985年)

マナー指導とつながりますが、私たち教員が姿勢を正し、手本を見せることも大切だと思います。一方的にルールやマナーを押しつけるのではなく、私たちが行動で示しているようにしなければいけません。

二杉 そうですね。「金城ビジネススキル検定」というものを発足させまして、その合格者第1号が先日誕生したんですが、その学生は、キャリア開発「担当の先生(本学卒業生)の姿を見て、「やっぱりマナーを身につけた女性は、かっこいい」と思ったことが講座受講の動機だと言っています。きつこの学生の立ち居振る舞いを見て、洗練されたマナーの魅力を知る学生が生まれると思うんです。そういう先輩に憧れて、その後輩が見習うという連鎖反応で、金城生らしい品格を取り戻すことができたら素晴らしいと思います。

上原 私学には「ピア・サポート」と言って上級生が新入生の学生生活をサポートする制度や、学生向けに広報紙を発行する学生組織があります。学生のこういう活動が発展して、地域のボランティア活動や学生のマナー向上にも取り組んでもらえたらいいですね。

## ご家庭でのコミュニケーションづくりの期待

学生のマナー指導に関して、父母の皆様へは何を期待されますか。

上原 私も二人の子どものサポートですが、子どもには小言ではなく、日常的な会話を

注1「エアラインプログラム」とは  
文学部英語英米文化学科(前・英文学科)は、これまで多くの優秀な卒業生を航空業界へ送りだしてきました。その実績を礎に、より有能な人材を求める航空業界の声と、キャビンアテンダントやグラウンドスタッフを目指す女性の夢に応えて、2006年4月よりスタートした履修コースです。エアラインビジネスのノウハウをはじめ、高度な英語運用能力や国際的な教養など専門的なカリキュラムを整え、他大学にはない高度な履修内容で即戦力を養います。

## 大学の研究から、学生のクラブ・サークルまで。父母会はさまざまな活動をサポートしています。

### 研究トピックス 特別研究助成を受けて

## 緑茶カテキンの 心筋収縮力の増加と 心筋保護作用

薬学部 薬学科  
堀田 芳弘 教授  
専門分野: 薬理学  
循環器系薬理学



2007年度金城学院大学父母会特別研究助成を虚血心筋細胞死に対する緑茶カテキン類の制御と新しい強心保護薬とのタイトルで受けることができ、大変感謝しております。心筋梗塞など虚血再灌流後の心筋収縮力の保持に関して種々の心筋保護薬を疾病の発生機序や薬物療法の過程における心筋細胞死(アポトーシス)に対しミトコンドリア(Mit)の役割を中心に検討しています。本助成により、お茶の成分である単一な緑茶カテキンを中心として新しい薬物を開発することを目的として行いました。一般庶民に喫茶の風習は臨濟宗の開祖栄西禅師により、平安時代より心臓初め内蔵を丈夫にし、健康を保つにはお茶は欠かせないと広められています。われわれの抽出モルモット心臓標本においても心不全治療薬として臨床で用いられている収縮蛋白活性化剤ピモバンタンと同じようにCa感受性色素シグナルを上昇させずに収縮力を増大する事が示されました。種々の緑茶カテキンの中で熱処理により簡単に異性化するカテキンは10倍薄い濃度で本作用が認められ治療薬として有



用である可能性が示唆されました(Eur J Pharmacol 2006)。また、虚血再灌流障害もMitに関係した心筋細胞死を伴わずに心筋の収縮力を高め心筋保護作用が認められました(Life Sciences 2007)。共同研究者である福沢嘉孝教授(愛知医大・消化器内科:生活習慣病について学生へのゲストスピーカーを依頼)と非アルコール性脂肪性肝炎(NASH)の治療効果について臨床試験を行っています。お茶カテキンは新しいタイプの心筋保護薬として十分期待できるものと思われま。

2007年度卒業記念事業費で  
ジェットタオルを設置

学内のトイレ16箇所にジェットタオルを  
寄贈いたしました。かねてよりペーパー  
タオル設置の要望がありましたが、  
環境に優しく、衛生的なジェットタオル  
を設置し、学生の皆さんにも喜ばれて  
います。



予算及び決算につきまして、主な点を説明します。

〔2007年度決算について〕「学生教育助成費」の支出がゼロになっています。  
これは、2006年度の後半から文部科学省の補助金が採択されたことにより、従来  
支出していた費用がすべて賄われることになった結果、支出が発生しませんでした。

〔2008年度予算について〕 幾つかの費目で増額等の承認をいただきました。  
①今年度はクラブハウスの新築、食堂(リリーイースト)の増築が計画されています。  
そのため今年度の特別措置として、「学生施設建設助成積立金」を取崩し、  
「学生施設建設助成金」を設け、机椅子等の備品を寄贈することになりました。  
②学習成果公表等助成制度を設け「教育研究助成費」で、助成することになりました。  
③女子大学らしい環境整備に利用するため、「環境整備助成金」を増額していただきました。

今年度も夏休みに  
地区別懇談会を開催します。

昨年度と同じ4会場で開催する予定です。大学の現状や当該地域に  
おける就職状況の説明の後、就職、教務、学生生活に関するご相談  
などを個別に受け付けます。この地区の方々にはあらためてご連絡いたし  
ますので、ぜひご出席ください。なお、開催日程は以下の通りです。

- ◎岐阜(岐阜都ホテル) 8月30日(土)13:30~16:00
- ◎金沢(金沢都ホテル) 9月 2日(火)13:30~16:00
- ◎四日市(四日市都ホテル) 9月 6日(土)13:30~16:00
- ◎浜松(グランドホテル浜松) 9月13日(土)13:30~16:00

総会報告・収支報告

去る2008年6月4日(水)大学にて父母会総会が開催され、  
2007年度の事業報告・決算、2008年度の事業計画・  
予算などが承認されました。

◎収入の部	2007年度収支決算			2008年度収支予算		
	決算額	予算額	増減	2008年予算額	2007年予算額	増減
前年度繰越金	14,193,526	14,193,526	0	28,557,680	14,193,526	14,364,154
入会金	9,289,000	9,289,000	0	8,169,000	9,289,000	△1,120,000
会費	44,076,750	44,575,000	△498,250	52,430,000	44,575,000	7,855,000
雑収入	50,774	10,000	40,774	50,000	10,000	40,000
学生施設建設助成積立金取崩収入	—	—	—	9,004,162	—	9,004,162
合計	67,610,050	68,067,526	△457,476	98,210,842	68,067,526	30,143,316
◎支出の部	決算額	予算額	増減	2008年予算額	2007年予算額	増減
学生教育助成費	0	7,716,500	△7,716,500	5,700,000	7,716,500	△2,016,500
学生生活助成費	7,646,435	9,377,000	△1,730,565	9,852,800	9,377,000	475,800
学生指導助成費	2,263,103	2,620,000	△356,897	3,120,000	2,620,000	500,000
教育研究助成費	10,381,824	10,414,000	△32,176	10,554,000	10,414,000	140,000
教員研修助成費	1,131,122	3,100,000	△1,968,878	3,700,000	3,100,000	600,000
事務研修助成費	1,000,000	1,000,000	0	1,500,000	1,000,000	500,000
地区別懇談会助成費	1,768,531	3,000,000	△1,231,469	3,000,000	3,000,000	0
卒業記念事業費	2,000,000	2,000,000	0	3,000,000	2,000,000	1,000,000
環境整備助成費	1,000,000	1,000,000	0	5,000,000	1,000,000	4,000,000
父母会活動費	7,108,320	8,900,000	△1,791,680	8,900,000	8,900,000	0
学生施設建設助成費	—	—	—	15,000,000	—	15,000,000
学生施設建設助成積立金	3,000,000	3,000,000	0	0	3,000,000	△3,000,000
周年事業積立金	1,500,000	1,500,000	0	3,000,000	1,500,000	1,500,000
雑費	253,035	1,000,000	△746,965	1,000,000	1,000,000	0
予備費	0	13,440,026	△13,440,026	24,884,042	13,440,026	11,444,016
次年度繰越金	28,557,680	—	28,557,680	—	—	—
合計	67,610,050	68,067,526	△457,476	98,210,842	68,067,526	30,143,316
◎特別会計の部	組入額					
周年事業積立金	7,505,237					
学生施設建設助成積立金	9,004,162					

2007年度事業報告

2007年4月3日(火) 【内容】◎キリスト教について  
◎学生生活について  
◎教務上の諸事項について  
◎キャリアアップ講座について  
◎大学父母会の活動の協力について  
父母対象大学説明会 役員会  
入学式後を利用して、入学生の  
父母対象に説明を行いました。 【役員会】◎卒業記念品について

2007年5月31日(木) 【役員会】総会審議事項の確認  
◎2006年度事業報告  
◎2006年度決算報告  
◎2007年度役員・委員選出  
◎2007年度事業計画  
◎2007年度予算  
◎教育懇談  
役員会 【歓迎迎会】新旧役員及び大学役職者の歓迎迎会

2007年6月6日(水) 【総会】◎2006年度事業報告  
◎2006年度決算報告  
◎2007年度役員・委員選出  
◎2007年度事業計画  
◎2007年度予算  
総会 【教育懇談会】「大学の現状報告資料」に基づき  
学長から概要の説明  
【懇談会】アドバイザー(クラス担任)との懇談

2007年7月19日(木) 【概要】講演会及び父母会役員・  
大学役職者とクラス委員との懇談会  
委員との懇談会

2007年9月1日(土)4日(火) 【概要】◎大学の教育方針・近況等説明  
8日(土)15日(土) ◎学生生活上の説明  
◎個別懇談(成績関係、就職関係、その他)

地区別懇談会  
場所:浜松、金沢、岐阜、四日市

2007年12月6日(木) 【議題等】◎大学の近況報告  
◎今後の父母会活動について  
◎教育懇談  
定期懇談会

2008年2月9日(土) 【議題等】◎今年度父母会活動の総括  
◎卒業記念品について  
◎教育懇談  
役員会

2008年3月18日(火) 【議題等】◎次年度役員、日程について  
役員会

2008年度事業計画

2008年4月1日(火) 【内容】◎キリスト教について  
◎学生生活について  
◎教務上の諸事項について  
◎キャリアアップ講座について  
◎大学父母会の活動の協力について  
父母対象大学説明会 役員会  
入学式後を利用して、入学生の  
父母対象に説明を行いました。

2008年5月26日(月) 【役員会】総会審議事項の確認  
◎2007年度事業報告  
◎2007年度決算報告  
◎2008年度役員・委員選出  
◎2008年度事業計画  
◎2008年度予算  
◎教育懇談  
役員会 【歓迎迎会】新旧役員及び大学役職者の歓迎迎会

2008年6月4日(水) 【総会】◎2007年度事業報告  
◎2007年度決算報告  
◎2008年度役員・委員選出  
◎2008年度事業計画  
◎2008年度予算  
総会 【教育懇談会】「大学の現状報告資料」に基づき  
学長から概要の説明  
【懇談会】アドバイザー(クラス担任)との懇談

2008年7月17日(木) 【概要】講演会及び父母会役員・  
大学役職者とクラス委員との懇談会  
委員との懇談会

2008年8月30日(土) 【概要】◎大学の教育方針・近況等説明  
9月 2日(火)6日(土) ◎学生生活上の説明  
13日(土) ◎個別懇談(成績関係、就職関係、その他)

地区別懇談会  
場所:岐阜、金沢、四日市、浜松

2008年12月4日(木) 【議題等】◎大学の近況報告  
◎今後の父母会活動について  
◎教育懇談  
定期懇談会

2009年2月19日(木) 【議題等】◎今年度父母会活動の総括  
◎卒業記念品について  
◎教育懇談  
役員会

2009年3月18日(水) 【議題等】◎次年度役員、日程について  
役員会

## ごあいさつ

今年度父母会会長をつとめさせていただきます浅井と申します。日頃は父母会の活動に深いご理解とご協力を賜りまして誠にありがとうございます。会員皆様と父母会を結ぶ架け橋として会報「Bridge」第4号をお届けします。

私どもの世代にとりまして、金城学院といえば「お嬢様学校」の代名詞であり、金城生といえば華やかな中にも気品のあるエレガントな女性の代名詞でもあります。しかしながら、最近はこちらの金城生のイメージにふさわしくない評判も耳にするようになり心を痛めておりましたところ、学長であり学院長でもあられる柏木先生より「本年をマナーの金城ルネッサンスの年とし、全学教職員一丸となってルールとマナーの指導に取り組む」との力強い方針が示されました。私ども父母会もこうした方針に全面的に賛同し協力してまいりたいと思います。会員皆様のご理解ご支援をお願い申し上げます。

来年は金城学院創立120周年・大学設立60周年の記念すべき年にあたります。有意義な記念事業をいろいろご計画いただいております。父母会といたしましても、こうした記念事業が成功裡に実施されますよう全面的に協力してまいりたいと思います。詳細につきましては逐次ホームページなどで発表されます。今学校で何がおこなわれ、これから何がおこなわれようとしているのかをご理解いただくためにも、ぜひホームページをご覧ください。会員皆様のご健勝を心からお祈りいたしまして、ごあいさつといたします。

金城学院大学父母会 会長

浅井 清司

日頃は大学の教育にご理解とご協力を賜り、心よりお礼申し上げます。皆様のお支えにより、学生への教育と教員の研究活動が円滑に推進できることを大変感謝しております。

本学では、「強く、優しく。」をスローガンに掲げています。「強く」は、実社会において、主体性を持つてものごとを押し進める強さ、意志を通す強さ、目標を達成するための知識と技術を、「優しく」は、他人をいたわり思いやる優しさ、コミュニケーション能力、他者を認める寛容さや謙虚さを意味します。キリスト教を基盤として、このような強く、優しい女性の育成を目指し、このスローガンを共通理解として教育の実践に活かしていきたいと考えていますので、ご協力をお願いいたします。

今年度から特に学生に対して学習規律と社会的マナーの指導に力を注ぎたいと考えています。今回のBridgeに特集として記事が掲載されていますが、教職員一丸となってマナー向上を進めたいと考えていますので、ご家庭でも是非趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

今年度も予算を含め、いろいろとご配慮を賜り大変感謝しております。特にクラブハウスの新設、食堂の増築にともなう机椅子等の備品につきまして多額のご寄付のご承認をいただき感謝いたします。目まぐるしく変わる時代の中、大学として最良の教育ができるようまい進していく所存でございますので、今後ともご支援、ご協力のほどをお願い申し上げます。

金城学院大学 学長

柏木 哲夫

### 学内トピックス

#### 2009年2月、竣工予定。 クラブハウス新築、食堂(リリーイースト)の増築

2009年2月の竣工を目指し、体育館南側にクラブハウス新築工事(鉄筋3階建て、総延べ床面積2,478㎡)を行っています。1階にはクラブ間のコミュニケーションが誘発され、新たな交流が生まれるよう、共用で利用できる120㎡のラウンジと、音楽を中心とした活動ができるよう防音型練習室11室、2、3階には大小2タイプの一般クラブ室69室を設けています。また、高遮熱ガラス、人感センサー付消し忘れ防止エアコン、高効率照明など省エネルギーにも配慮された環境にやさしい施設です。食堂(リリーイースト)の増築を夏休みを利用して行い、床面積を242㎡広げ、220席程度増設します。また、建物内の温度を下げるため、屋上には植栽を施すことにしています。



クラブハウス完成予想CG

Bridge vol.4

Cover Photo

金城学院大学ランドルフ記念講堂内  
キリストの生涯を描いた12編にわたるステインドグラス

#### 第1編 「告知」



今回、表紙に掲載されているステインドグラスは、「金城学院大学ランドルフ記念講堂」の新築にあたり制作されたものです。日本のステインドグラスの第一人者で世界的にも有名な作家・立花江津子氏による作品です。講堂の南北の窓に、キリストの生涯を12編で構成されたもので、表紙の作品は神の子を身ごもったことを、天使ガブリエルがマリアに告げる場面を描いた物語の1番目になる「告知」です。直線と曲線、黄色と青色、光と影を基調に描かれているのが特長で、また光と影は、この窓における表現の大きな力となっています。さらには、登場人物の構図も、従来の図像学を超えた独創的なものです。マリアの背後の空間は、曲線で大きくうねり、彼女の心の動揺の激しさを表し、マリアは動、ガブリエルは静の形で描かれています。

引用：1992年・金城学院発行「金城学院大学 ランドルフ記念講堂ステインドグラス—物語る窓—」より